

# 平成30年矢巾町議会定例会12月会議議事日程（第5号）

平成30年12月13日（木）

午前10時 開 議

- 第1. 交通に関する調査特別委員会報告について
- 第2. 議案第103号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）について
- 第3. 議案第104号 平成30年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 第4. 議案第105号 平成30年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
- 第5. 議案第106号 平成30年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について
- 第6. 議案第107号 平成30年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）について
- 第7. 議案第108号 平成30年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）について
- 第8. 発議案第7号 交通に関する調査特別委員会の廃止について
- 第9. 閉会中の継続審査の申出について
- 第10. 閉会中の継続調査の申出について
- 第11. 閉会中の議員の派遣について

# 議 案 目 次 (追 加)

平成30年矢巾町議会定例会12月会議

17. 交通に関する調査特別委員会報告について
18. 発議案第7号 交通に関する調査特別委員会の廃止について
19. 閉会中の継続審査の申出について
20. 閉会中の継続調査の申出について
21. 閉会中の議員の派遣について

平成30年12月13日

矢巾町議会議長 廣田光男様

交通に関する調査特別委員会  
委員長 米倉清志

### 交通に関する調査特別委員会報告書

平成29年矢巾町議会定例会6月会議において特別委員会を設置し、下記付託事件に関する調査の経過と結果について、矢巾町議会会議規則第77条の規定により下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 付託事件

- (1) 岩手医科大学附属病院移転に伴う関連道路の整備等に関する調査
- (2) 高齢者など交通弱者対策に関する調査
- (3) バス路線網再編等、公共交通に関する調査
- (4) その他、交通政策に必要な事項

#### 2 調査経過

平成29年6月6日に特別委員会が設置され、付託事件に関する課題を定め、総務、産業建設、教育民生の3分科会に振り分け、それぞれの分科会において、状況の把握、現状確認、先進地視察等の調査・研究を行い、平成30年3月6日に中間報告を行った。中間報告以降は、デマンド型交通の試験運行への取り組み、町道中央1号線及びスマートIC関連道路の改良工事、ゾーン30及びグリーンベルトの設置など町当局の事業の進捗状況を検証しながら、調査を継続した。調査経過は、次のとおりである。

##### <総務分科会>

テーマ 「交通弱者対策について」

- 調査項目 (1) デマンドタクシー (2) タクシーの活用  
(3) バスの運行（・マイクロバス巡回、・JRとバスの乗継）  
(4) さわやか号廃止対応 (5) 通院・買い物等弱者対応  
(6) 免許返納者対応

##### <産業建設分科会>

テーマ 「渋滞緩和に向けた取組について」「道路網の整備について」

- 調査項目 (1) 交通渋滞緩和対策 (2) 道路整備対策  
(3) 医大開院に伴う交通対策

### <教育民生分科会>

テーマ 「通学路の安全対策について」

調査項目 (1) 交通安全対策 (信号機、右折レーン、防犯灯、道路標識)  
(2) 通学路対策 (3) ゾーン30・グリーンベルトの検討

#### 【平成29年度】

特別委員会7回、幹事会9回、その他必要に応じ分科会を開催し、関係課からの聞き取り調査及び現地調査を行った。また、総務分科会では岩手町、山梨県都留市及び福島県二本松市にデマンドタクシー事業等について、産業建設分科会では盛岡市及び紫波町に道路網の整備計画について、教育民生分科会では新潟県新潟市に交通安全施設等について、先進地視察研修を実施し調査研究を行った。各分科会から調査結果の報告を受け、中間報告を行った。

#### 【平成30年度】

特別委員会は、平成30年5月31日、6月28日、8月28日、12月11日の4回、幹事会は、6月12日、6月19日、10月25日、12月4日、12月10日の5回開催した。その他に、必要に応じ分科会を開催し、調査研究を行い、分科会ごとに調査結果を取りまとめ、特別委員会として調査意見に政策提言を付議して最終報告書を作成した。

### 3 調査意見

(1) 中間報告における調査意見は、次のとおりであった。

平成29年6月に設置された「交通に関する調査特別委員会」の平成29年度の活動として、付託事件に関して、それぞれ担当課から説明を受け、計画並びに事業の内容や、進捗状況等について調査してきた。

また、各常任委員会単位で構成した分科会に要請していた交通に関する調査課題について、現地調査や先進地研修調査など、課題解決に向けて懸命に調査に取り組んでいただいた。各分科会からの調査結果の中間報告を受け、その報告をもって、交通に関する調査特別委員会の中間報告とする。

#### <総務分科会>

「さわやか号」を廃止して、「デマンドタクシー」に特化した運行が最適と考えられる。ここで対象とする交通弱者とは、

- ・高齢による歩行運動機能の低下したもの
- ・運転免許を返納したもの
- ・病気等健康身体上の理由から自力で運転できないもの
- ・公共交通機関の乗車場所（バス停）まで行くことが困難なもの
- ・買い物をしても、持ち帰ることができないもの
- ・妊娠中の女性や乳幼児を抱える母親等、安全運転に支障をきたすもの
- ・その他町長が必要と認めたもの

以上の事由から、登録認可を受けたものをいい、利用者の戸口から戸口を原則とした弱者に寄り添う矢巾型デマンドタクシーの早期実現を提唱する。

#### <産業建設分科会>

岩手医科大学附属病院移転及びスマート I C 開通に伴う関連道路の整備に関する調査として、盛岡市と紫波町の道路整備計画について調査した。

国道 4 6 号西バイパスの延伸、都南文化会館から矢巾町方面に向かう計画道路（津志田白沢線）、町道中央 1 号線の盛岡側の国道 4 号までの道路改良などの早期整備が望まれる。

紫波町では、西部開拓線の県道昇格を要望している。また、古館駅の矢巾町民の利用者も多いことから、古館との連結道路の整備が必要である。

医大開院に伴う渋滞緩和対策としては、右折レーンだけではなく左折レーンの拡幅整備も必要と思われる。

各課横断的に調整し計画立案・調査まで行う政策担当課の設置を望む。

#### <教育民生分科会>

各小学校区の通学路について、危険箇所等を調査し現地確認・検証を行った。また、紫波警察署交通課長を招き研修会を行った。

通学路の交通安全施設「ライジングボラード」及び環状交差点「ラウンドアバウト」について、新潟市に先進地視察を行った。

現地確認・検証を行った通学路の危険箇所については、早期の改善を町に要望したい。また、学校等関係機関とのワークショップ等を早急に立ち上げ、通学路の安全対策について取り組むことを要望する。

### (2) 最終報告における調査意見

交通に関する調査特別委員会から各分科会に要請していた調査項目について、各分科会から調査結果の報告を受けた。また、各分科会から調査結果に基づく課題に対する町当局への政策提言事項が示された。

総務分科会では、交通弱者対策として、デマンドタクシー等の調査・研究を行ってきた。本町では長年、さわやか号が町民の足として利用されてきたが、近年その利用数が激減した。その主な理由として、停留所まで歩くことが困難、買い物をした荷物を家まで運ぶことが困難、施設に入居した等があげられる。今後、高齢化が進む中、それらの問題を解決し、地域で安心して暮らしていくためには、町民の足としてデマンドタクシーの導入が求められている。地域公共交通網整備の中で、最も重視されなければならないことが、交通弱者対策であると考えられる。

産業建設分科会では、道路交通網や渋滞緩和整備対策の具体化を図るために、町内外への自家用車通勤者がどの路線を利用し移動しているのか、調査を行い状況把握することによって、朝夕の渋滞状況をリアルに捉えることができ、年々増加が予想される混雑の改善や、岩手医科大学附属病院開院に伴う交通量増加に向けた対策を考えることに大きなヒントになると思われることから、町内全域の交通量実態調査を実施するべきである。また、道路網や渋滞等の改善を図るには、矢巾町の道路行政の長年の課題となっている都市計画道路建設の早期実現が最良の改善策と考える。今後、町として、（仮称）都市計画道路建設検討委員会を早

期に設置し、一般国道4号「盛岡南道路」の計画を勘案し、町内の主要道路や生活道路を含めた道路事情の分析を行い、将来も見据えながら、道路網整備の構想を早期に策定し、優先順位を付けて都市計画道路建設工事計画をプログラム化して、早期実現に向けて検討されたい。

教育民生分科会では、交通安全対策として、新潟市が設けている環状交差点とライジングボラードの視察研修を実施したが、ライジングボラードについては本町には必要性が低いと判断した。環状交差点については、多額の費用を要するが交通渋滞や事故防止の効果も大きいことから慎重に検討する必要がある。調査期間中に、ゾーン30設置に向けた準備が2箇所始まり、グリーンベルトが煙山小学校と徳田小学校に設置されたが、他にも必要が認められる場所があり設置についての検討が必要である。通学路については、対策が必要と思われる箇所を独自に現場確認したが、安全の確保には矢巾町交通安全対策協議会による「通学路交通安全プログラム」が最適であると考え、プログラムの長期継続を期待する。

各分科会からの調査結果に基づく意見を持って、交通に関する調査特別委員会の調査意見とするが、当局に対して次の政策提言を行い、今後の矢巾町の交通問題の課題解決にしっかり活かしていただくよう強く要請するものである。

以上の報告をもって、「交通に関する調査特別委員会」の最終報告とするが、今後も、デマンド型交通の試験運行、岩手医科大学附属病院の開院、国道4号盛岡南道路、など交通に関する様々な課題が山積してくることが想定されることから、各常任委員会において、今後の事業展開や交通問題について、引き続き注視・検証・評価を行い課題解決に向けて、町当局と一緒に取り組んでいただくことを願います。

#### 4 政策提言

- (1) デマンド型タクシーについて、利用は登録制とし交通弱者に配慮すると共に、停留所ではなく戸口から戸口とし、利用料金は1乗車当たり300円以下とすること。
- (2) 徳田橋から矢幅駅までの県道について、4車線化改良工事の早期実現に向けて、県への要望活動に取り組まれたい。
- (3) 県道不動盛岡線（白沢から赤林までの区間）の信号機について、通勤時間帯に合わせた通過時間延長の可否に係る調査・要望活動を図られたい。
- (4) 都市計画道路高田煙山線の早期実現のため、計画を策定し、国や県に予算確保に向けた要望活動を検討されたい。
- (5) 一般国道4号「盛岡南道路」について、町も国に要望活動を行っているが、早期実現のため町民挙げての要望活動を展開されたい。
- (6) 盛岡市道津志田白沢線について、早期整備実現のため、盛岡市に対する要望活動に取り組まれたい。
- (7) 県道盛岡石鳥谷線の道路上に段差が生じていることについて、早急に段差解消の補修工事を県へ要望されたい。

- (8) 町道路線について、路盤面の劣化が著しい箇所が多く見受けられることから、年次計画を立てて全面的に補修工事を図られたい。
- (9) 町道西部開拓線について、県道昇格については盛岡市及び紫波町と協力し請願や要望を進めていくべきである。また、歩道や信号機の早期設置について町として調査・検討し、具体的に取り組まれたい。
- (10) 古館駅を利用する矢巾町民も多いことから、紫波町と連携して道路整備を進められたい。
- (11) 南矢幅踏切について、西側の町道に歩道がないことから、早期に事業計画を策定し実地調査を行い、地権者に説明等を行い万全な対策を講じられたい。
- (12) 町道中央1号線について、信号機設置に伴う交通渋滞が考えられることから、事前に防止策を図られたい。
- (13) 町道中央1号線の4車線化について、医大区域の北側及び南側の盛岡市見前地区から間野々地区までを含めた4車線化に向けて早期に取り組まれたい。
- (14) 矢巾スマートICから医大附属病院までのアクセス道路について、緊急車両がまっすぐに向かうことができるよう、整備計画の早期実現に向け具体的に検討されたい。
- (15) 通学路の見通しが悪く暗い場所などの早期改善に取り組まれたい。また、幅員が十分でない場所には歩道を設置されたい。
- (16) 危険と思われるブロック塀について、専門業者等による安全性の確認と対応を講じられたい。
- (17) ゾーン30が必要な場所について、今後設置に向けて検討されたい。
- (18) 矢巾町通学路交通安全プログラムに上記3項目を取り入れること。
- (19) 矢巾町交通安全対策協議会の構成員にスクールガードを追加すること。

# 参考資料

平成 30 年 11 月 30 日

## 交通に関する調査特別委員会 総務分科会報告

総務分科会では、交通弱者対策として、デマンドタクシー等の調査・研究を行ってきた。また、岩手町、山梨県都留市及び福島県二本松市での視察研修を実施した。

本町では長年、さわやか号が町民の足として利用されてきたが、近年その利用数が激減した。その主な理由として、停留所まで歩くことが困難、買い物をした荷物を家まで運ぶことが困難、施設に入居した等があげられる。

今後、高齢化が進む中、それらの問題を解決し、地域で安心して暮らしていくためには、町民の足としてデマンドタクシーの導入が求められている。

地域公共交通網整備の中で、最も重視されなければならないことが、交通弱者対策であると考える。

町が示した案では、停留所を設け、1 乗車大人 500 円、子ども 300 円となっており、弱者への対応となっていないことから、以下提言する。

- 1 利用は登録制とし、交通弱者に配慮する。
- 2 停留所ではなく、戸口から戸口とする。
- 3 1 乗車の利用料金は、300 円以下とする。

以 上



平成30年11月30日

## 交通に関する調査特別委員会 産業建設分科会報告書

交通に関する調査特別委員会から産業建設分科会に、①渋滞緩和に向けた取り組み  
②道路網の整備 の2つのテーマについて調査の要請があり、具体的な調査項目ごとに提言し、報告します。

道路交通網や渋滞緩和整備対策の具体化を図るために、町内外への自家用車通勤者は、どの路線を利用し移動しているのか、調査を行い状況把握することによって、朝夕渋滞状況をリアルに捉えることができ、年々増加が予想される混雑の改善や、岩手医科大学附属病院開院に伴う交通量増加に向けた対策を考えることに大きなヒントになると思われることから、町内全域の交通量実体調査を実施するべきである。また、道路網や渋滞等の改善を図るには、矢巾町の道路行政の長年の課題となっている都市計画道路建設の早期実現が最良の改善策と考える。

今後、町として、(仮称)都市計画道路建設検討委員会を早期に設置し、一般国道4号「盛岡南道路」の計画を勘案し、町内の主要道路や生活道路を含めた道路事情の分析を行い、将来も見据えながら、道路網整備の構想を早期に策定し、優先順位を付けて都市計画道路建設工事計画をプログラム化して、早期実現に向けて検討されたい。

### 産業建設分科会調査項目

#### 1 交通渋滞緩和対策

- ・徳田橋から町道田中横道線までの県道大ケ生徳田線及び県道矢巾停車場線について、4車線化改良工事の早期実現に向けて、県への要望活動に取り組まれたい。
- ・県道不動盛岡線（白沢から赤林までの区間）の信号機について、通勤時間帯に合わせた通過時間延長の可否に係る調査・要望活動を図られたい。
- ・都市計画道路高田煙山線の早期実現のため、計画を策定し、国や県に予算確保に向けた要望活動を検討されたい。

#### 2 道路整備対策

- ・一般国道4号「盛岡南道路」の第1回目計画策定委員会が開催され、町も国に要望活動を行っているが、早期実現のため町民挙げての要望活動を展開されたい。
- ・盛岡市道津志田白沢線について、一部事業に着手しているが大抵の部分は優先順位が3と低く、早期整備実現のため、町を挙げての盛岡市に対する要望活動に取り組まれたい。
- ・県道不動盛岡線及び県道盛岡石鳥谷線の道路上に段差が生じていることについて、大型車両の通行する際、特に夜間の騒音がひどく沿線住民の安眠に悪影響を与えているため、早急に段差解消の補修工事を県へ要望されたい。

- ・町道路線について、路盤面の劣化が著しい箇所が多く見受けられることから、年次計画を立てて全面的に補修工事を図られたい。
- ・大型車両の交通量も多い町道西部開拓線について、県道昇格は盛岡市や紫波町との共通課題であり、今後、両市町と協力し請願や要望を進めていくべきである。また、町道西部開拓線沿いに居住し、日常的に利用している町民の安全確保の観点から、歩道や信号機の早期設置について町として調査・検討し、具体的に取組まれたい。
- ・紫波町では、古館駅前の道路整備と駅前ロータリー化の整備計画を予定しており、また、古館駅前から医大に繋がる道路整備を検討しているが、北郡山公民館前の道路は未整備であり、古館駅を利用する矢巾町民も多いことから道路整備を進められたい。
- ・本町には危険踏切が3カ所あり、その1つである南矢幅踏切は、西側の町道に歩道がないことから、早期に事業計画を策定し実地調査を行い、歩道用地確保のため、地権者に説明等を行い万全な対策を講じられたい。

### 3 岩手医科大学附属病院開院に伴う交通対策

- ・町道中央1号線について、医大附属病院及び県立盛岡となん支援学校・県立療育センターの入口への信号機設置が検討されているが、信号機設置に伴う交通渋滞が考えられることから、事前に防止策を図られたい。
- ・町道中央1号線の4車線化について、現在、医大周辺の改良工事が鋭意進められているが、北側及び南側の盛岡市見前地区から間野々地区までを含めた4車線化に向けて早期に取り組まれたい。
- ・矢巾スマートインターチェンジから医大附属病院までのアクセス道路について、緊急車両がまっすぐに向かうことができるよう、整備計画の早期実現に向け具体的に検討されたい。

平成30年11月30日

交通に関する調査特別委員会 教育民生分科会報告

教育民生分科会では、通学路等の安全対策として、交通安全対策（信号機、右折レーン、防犯灯、道路標識）、通学路対策、ゾーン30・グリーンベルト等の調査・研究を行ってきた。

交通安全対策として、新潟市が設けている環状交差点とライジングボラードの視察研修を実施したが、ライジングボラードについては本町には必要性が低いと判断した。環状交差点については、多額の費用を要するが交通渋滞や事故防止の効果も大きいことから慎重に検討する必要がある。

調査期間中に、ゾーン30設置に向けた準備が2箇所が始まり、グリーンベルトが煙山小学校と徳田小学校に設置されたが、他にも必要が認められる場所があり設置についての検討が必要である。

通学路については、対策が必要と思われる箇所を独自に現場確認したが、安全の確保には矢巾町交通安全対策協議会による「通学路交通安全プログラム」が最適であると考え、プログラムの長期継続を期待する。

以上の調査を踏まえ、以下のとおり提言する。

- 1 通学路の見通しが悪く暗い場所などの早期改善及び幅員が十分でない場所への歩道の設置。
- 2 危険と思われるブロック塀について、専門業者等による安全性の確認、対応。
- 3 ゾーン30が必要な場所について、今後設置に向けて検討されたい。
- 4 矢巾町通学路交通安全プログラムに対し「提言1・2・3」の取り入れ。
- 5 矢巾町交通安全対策協議会の構成団体へのスクールガードの追加。

以 上

平成30年12月13日

矢巾町議会

議長 廣田光男様

矢巾町議会予算決算常任委員会

委員長 山崎道夫

## 予算決算常任委員会審査報告書

- 議案第103号 平成30年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第104号 平成30年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第105号 平成30年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第106号 平成30年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第107号 平成30年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）について
- 議案第108号 平成30年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）について

本常任委員会は、平成30年12月4日付けで付託された上記の議案を審査した結果、原案を可決すべきものと決定したので、矢巾町議会会議規則（昭和62年矢巾町議会規則第1号）第77条の規定により報告する。

なお、本委員会は議案第103号に対し、次のとおり附帯決議を付する。

### 記

- 1 小中学校への空調設備整備について、来年の酷暑期までに設置が完了するよう鋭意努力されたい。また、発注にあたっては、電気設備の設計及び機種を選定には十分調査研究し、ランニングコストが低廉になるような仕様を検討されたい。

発議案第7号

交通に関する調査特別委員会の廃止について

交通に関する調査特別委員会の廃止について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第112条及び矢巾町議会会議規則（昭和62年矢巾町議会規則第1号）第14条の規定により、別紙のとおり提出する。

平成30年12月13日

矢巾町議会議長 廣田光男様

提出者	矢巾町議会議員	川村農夫
賛成者	〃	藤原梅昭
〃	〃	廣田清実
〃	〃	村松信一
〃	〃	山崎道夫
〃	〃	高橋七郎
〃	〃	小川文子

## 交通に関する調査特別委員会の廃止について

交通に関する調査特別委員会は、その設置目的を終了したので廃止する。

平成30年12月13日

矢巾町議会議長 廣田光男様

矢巾町議会総務常任委員会  
委員長 小川文子

閉会中の継続審査申出書

本委員会は、審査中の事件について、閉会中もなお継続審査を要するものと決定したので、矢巾町議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

1 事 件

30請願第4号 消費税10%への引上げ中止を求める請願  
提出者 盛岡市松尾町19番8号  
岩手県消費税廃止各界連絡会  
代表 関沢 淨

2 理 由

審査途中のため

平成30年12月13日

矢巾町議会議長 廣田光男様

矢巾町議会運営委員会  
委員長 川村農夫

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、調査中の事件について、閉会中もなお継続調査を要するものと決定したので、矢巾町議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

- 1 事 件  
本会議の会期日程等議会運営に関する事項
- 2 期 限  
次期定例会まで



平成30年12月13日

矢巾町議会議長 廣田光男様

矢巾町議会広報広聴常任委員会  
委員長 昆秀一

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、調査中の事件について、閉会中もなお継続調査を要するものと決定したので、矢巾町議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

- 1 事 件  
議会の広報に関する調査、編集及び発行に関する事項
- 2 期 限  
次期定例会まで